

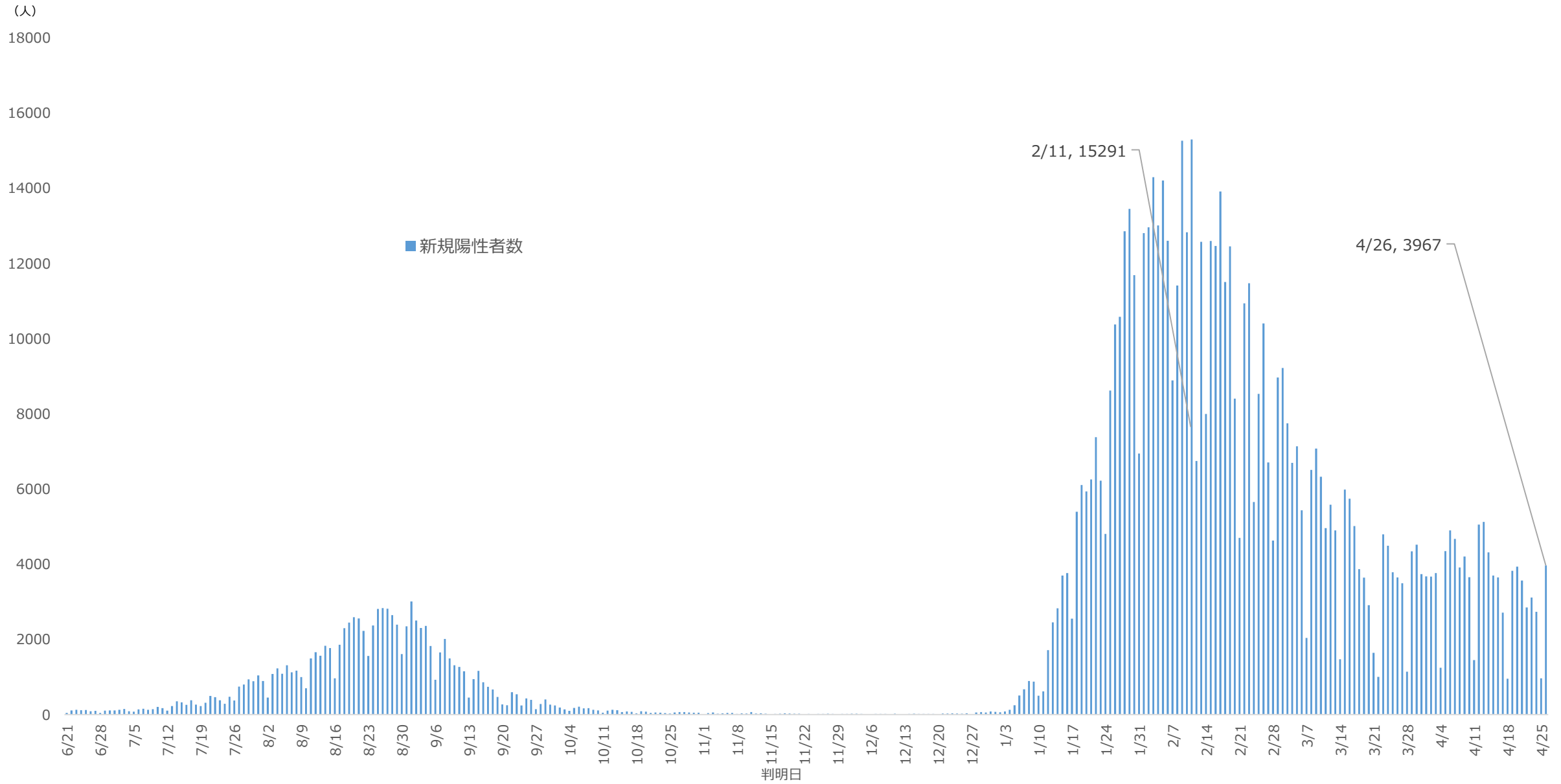
現在の感染・療養状況等について

大阪府健康医療部

- | | | |
|---|-------------|--------|
| 1 | 陽性者数等の推移 | P3~11 |
| 2 | 入院・療養状況 | P12~22 |
| 3 | 感染状況を踏まえた対応 | P23~29 |

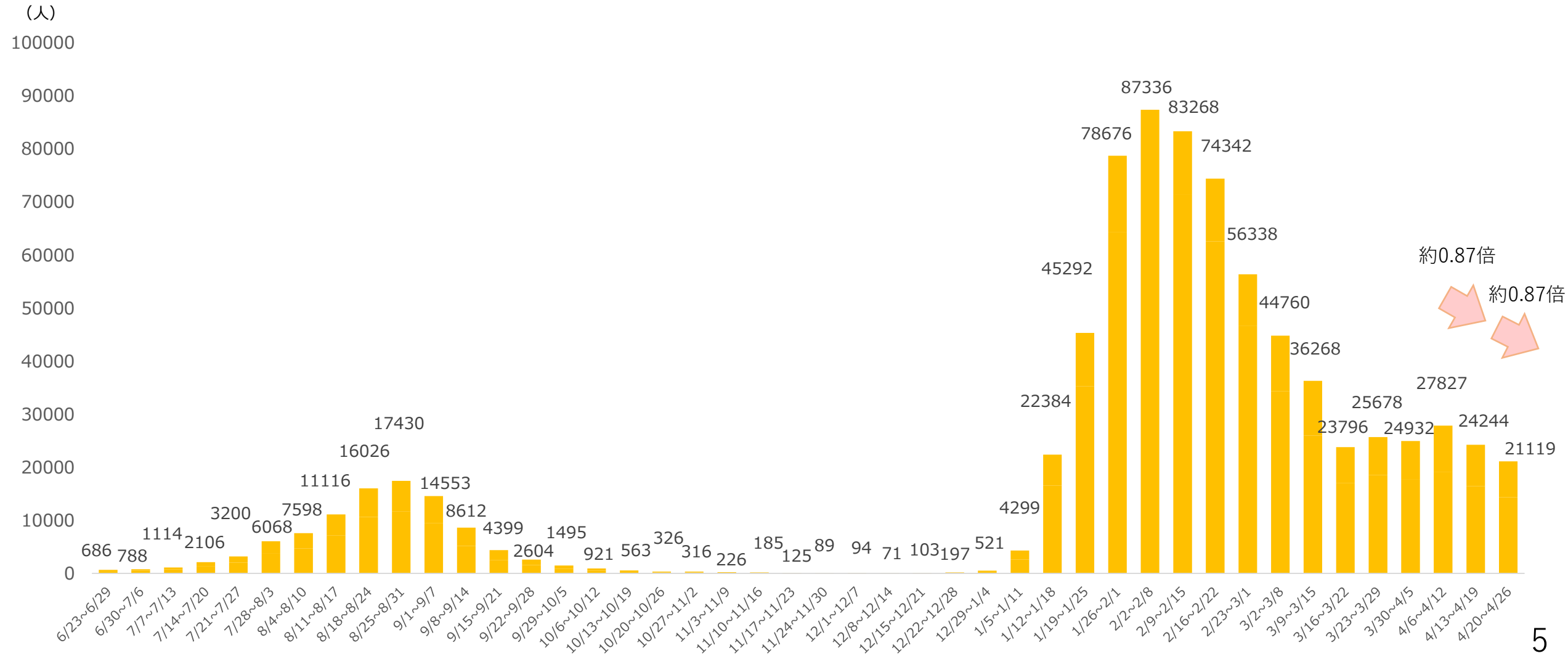
1 陽性者数等の推移

陽性者数の推移 (4月26日時点)



7日間毎の新規陽性者数(4月26日時点)

- ◆ 7新規陽性者数は、直近で下げ止まりの傾向。
7日間新規陽性者数では、1日当たり平均3,017人であり、依然、第五波の最大新規陽性者数3,004人を超過し、大規模な水準で感染者が発生。



新規陽性者数及び前週同曜日増加比の推移（4月26日時点）

上段：新規陽性者数
下段：前週同曜日増加比

◆ 直近の3日間は前週同曜日を上回っている。

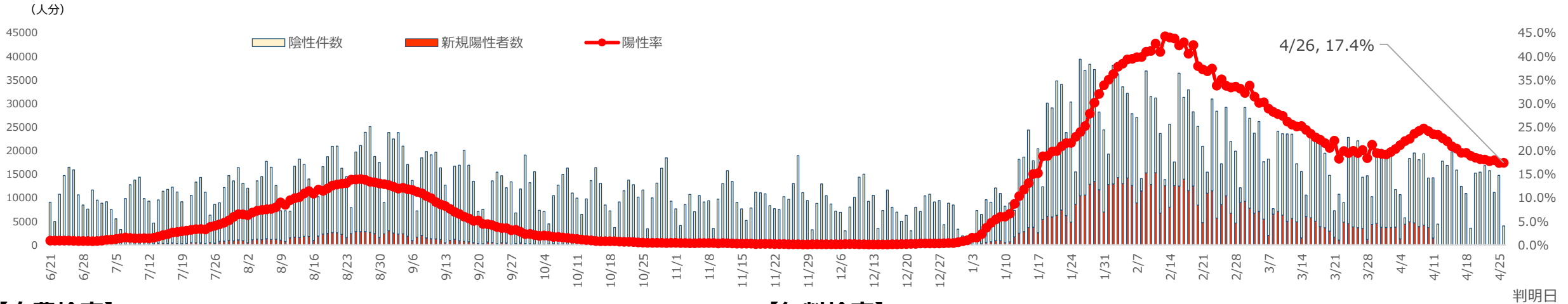
3月	13	14	15	16	17	18	19	週合計
	4,896 (0.90)	1,466 (0.72)	5,980 (0.92)	5,739 (0.81)	5,009 (0.79)	3,865 (0.78)	3,639 (0.65)	30,594 (0.81)
	20	21	22	23	24	25	26	週合計
	2,908 (0.59)	1,638 (1.12)	998 (0.17)	4,790 (0.83)	4,490 (0.90)	3,782 (0.98)	3,644 (1.00)	22,250 (0.73)
	27	28	29	30	31	4/1	2	週合計
	3,493 (1.20)	1,139 (0.70)	4,340 (4.35)	4,517 (0.94)	3,733 (0.83)	3,670 (0.97)	3,666 (1.01)	24,558 (1.10)
4月	3	4	5	6	7	8	9	週合計
	3,758 (1.08)	1,241 (1.09)	4,347 (1.00)	4,896 (1.08)	4,672 (1.25)	3,908 (1.06)	4,200 (1.15)	27,022 (1.10)
	10	11	12	13	14	15	16	週合計
	3,652 (0.97)	1,449 (1.17)	5,050 (1.16)	5,121 (1.05)	4,311 (0.92)	3,692 (0.94)	3,644 (0.87)	26,919 (1.00)
	17	18	19	20	21	22	23	週合計
	2,706 (0.74)	951 (0.66)	3,819 (0.76)	3,934 (0.77)	3,565 (0.83)	2,845 (0.77)	3,112 (0.85)	20,932 (0.78)
24	25	26	27	28	29	30	週合計	
2,733 (1.01)	963 (1.01)	3,967 (1.04)						

検査件数と陽性率（4月26日時点）

- ◆ 陽性率は、17.4%（4月26日時点）と依然高水準で推移し、市中に感染がまん延している状態。
- ◆ 4月11日～17日の1週間における自費検査及び無料検査の陽性判明率は、前週と同水準。

【行政検査】

※算出方法：「1週間の陽性者数（疑似症を除く）／1週間の検体採取をした人数」



【自費検査】

自費検査（府内に営業所がある自費検査のみを提供する民間会社等）及び新型コロナウイルス検査実施事業者（薬局等）において有料で実施した検査件数

期間	自費検査件数	(参考値) 陽性判明数 ※1	陽性判明率
1/3～1/9	7,540 件	180 名	2.4 %
1/10～1/16	15,050 件	424 名	2.8 %
1/17～1/23	27,585 件	767 名	2.8 %
3/21～3/27	4,393 件	108 名	2.5 %
3/28～4/3	3,203 件	75 名	2.3 %
4/4～4/10	3,240 件	174 名	5.4 %
4/11～4/17	3,671 件	179 名	4.9 %

【無料検査】

新型コロナウイルス検査実施事業者（薬局等）で実施された検査件数（ワクチン・検査パッケージ等定着促進事業と感染拡大傾向時の一般検査事業の合計）

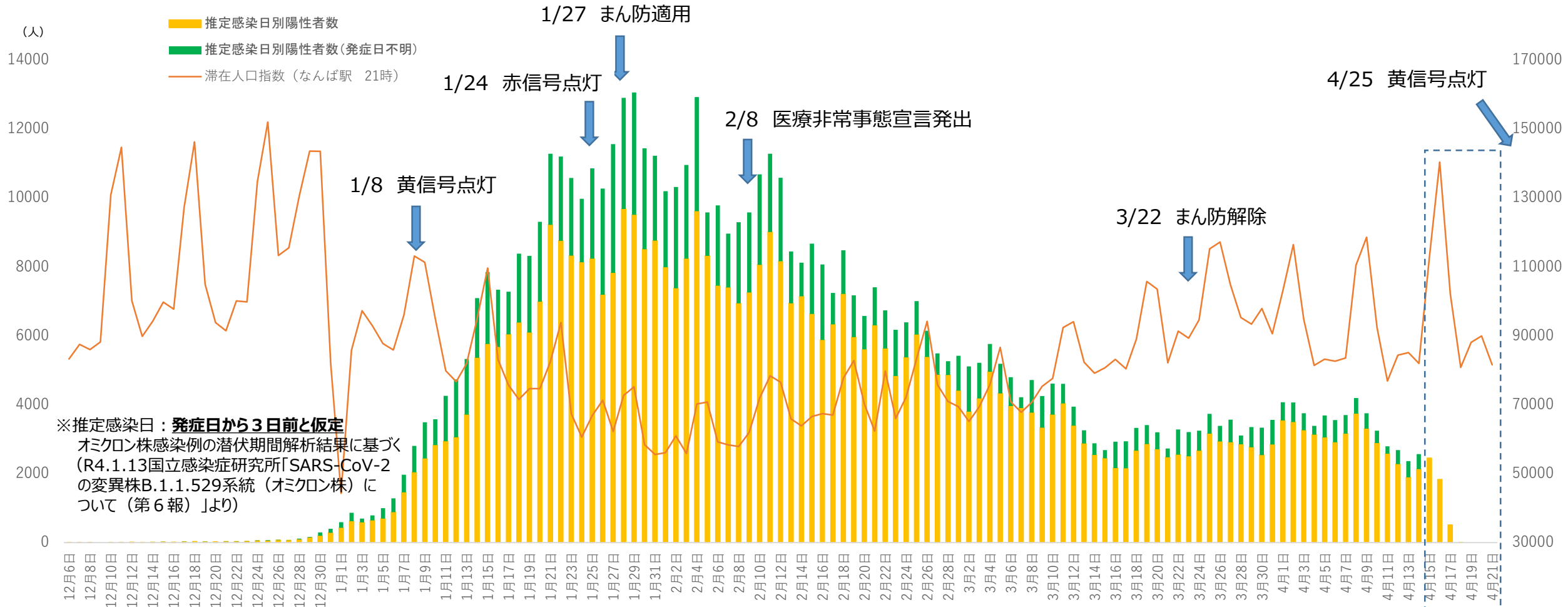
期間	無料検査件数	(参考値) 陽性判明数 ※1	陽性判明率
1/3～1/9	21,246 件	415 名	2.0 %
1/10～1/16	43,460 件	2,124 名	4.9 %
1/17～1/23	66,943 件	5,157 名	7.7 %
3/21～3/27	45,668 件	1,933 名	4.2 %
3/28～4/3	53,250 件	2,150 名	4.0 %
4/4～4/10	50,097 件	2,329 名	4.6 %
4/11～4/17	52,327 件	2,173 名	4.2 %

※1 陽性判明数の中には、府外に発生届が提出されている人や確定診断されていない人も含まれるため、陽性判明数は参考値としています。（陽性者数は、国のシステム（HER-SYS）上、行政検査、自費検査、無料検査のいずれで陽性となったかは区別ができません。）

推定感染日別陽性者数と人流（夜間）（4月21日時点）

◆ 推定感染日別陽性者数は4月上旬からやや減少していたが、直近は下げ止まり。
直近の土日の人流は年末の水準まで拡大。

（令和3年12月17日以降令和4年4月21日までの判明日分）（N=622,748名（調査中、無症状を除く））



※推定感染日：発症日から3日前と仮定
オミクロン株感染例の潜伏期間解析結果に基づく
（R4.1.13国立感染症研究所「SARS-CoV-2
の変異株B.1.1.529系統（オミクロン株）に
ついて（第6報）」より）

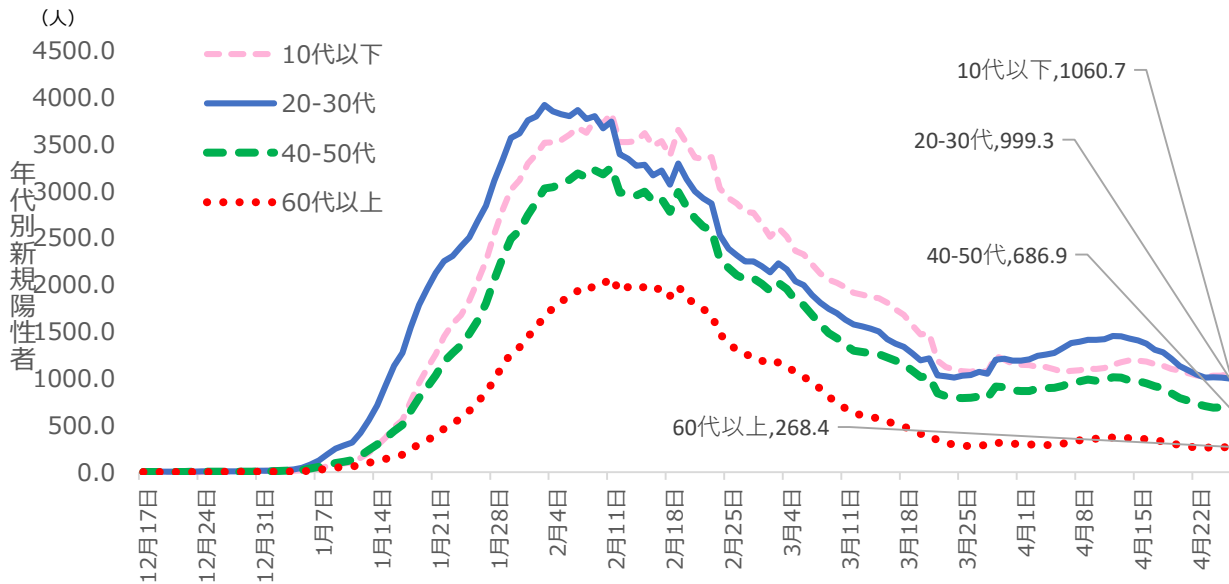
※有症状で発症日が確認できなかった事例について、陽性判明日から7日遡って算出
人流は、駅中心半径500mエリアの各時間ごと滞在人口をカウント【出典：株式会社Agoop】

感染から発症まで3日、発症から陽性判明まで4日（第五波における発症から陽性公表までの日数）と仮定し、
概ね点線枠囲み期間（7日間）は、今後、新規陽性者の発生に伴い、増加。

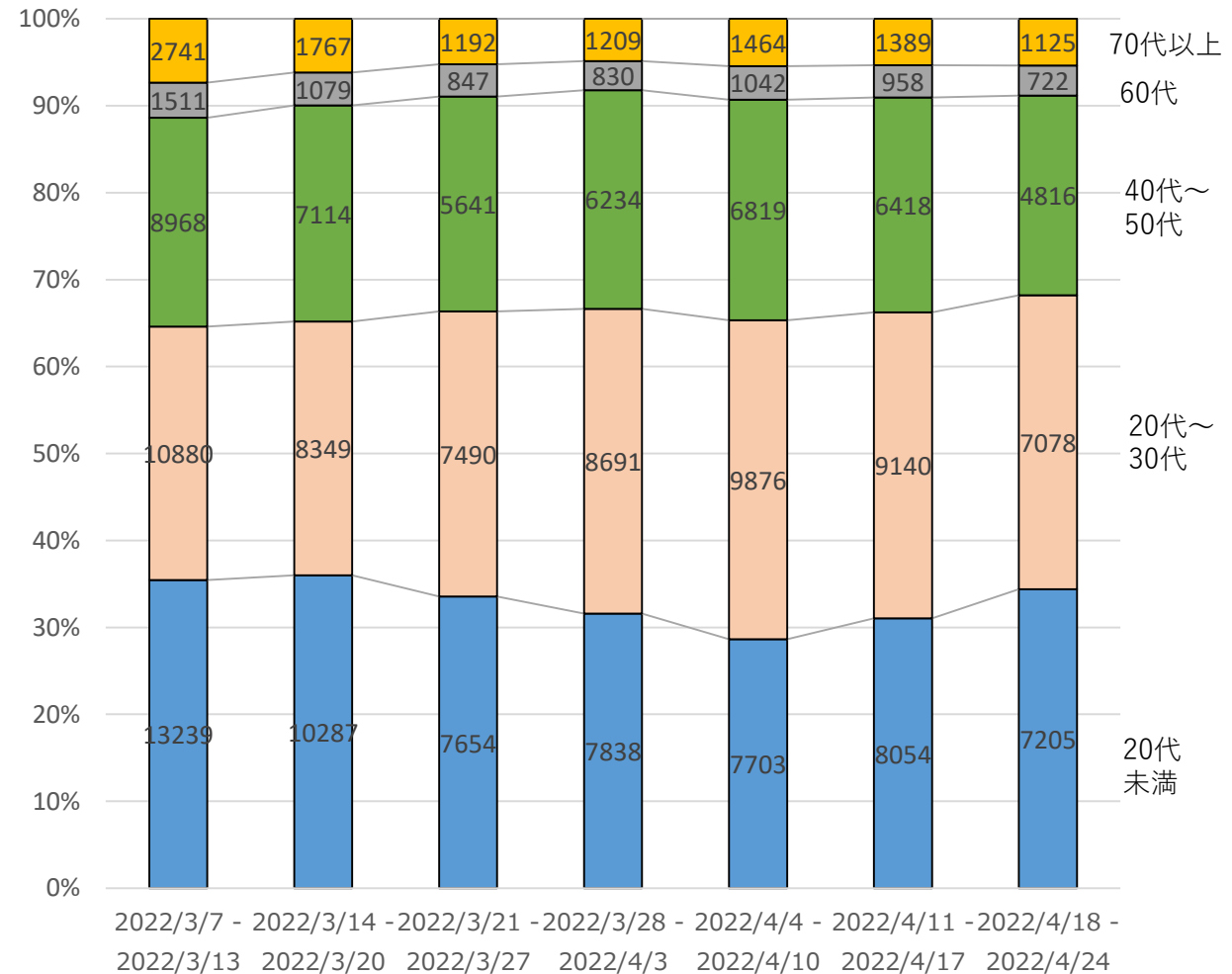
年代別新規陽性者数の推移

◆ 各年代別新規陽性者数（7日間移動平均）は下げ止まりの傾向にあり、特に10代以下、60代以上が増加傾向。
新規陽性者に占める年代割合では、20代未満が増加。

【年代別新規陽性者数（7日間移動平均）の推移】



【陽性者の年齢区分（割合、1週間単位）】



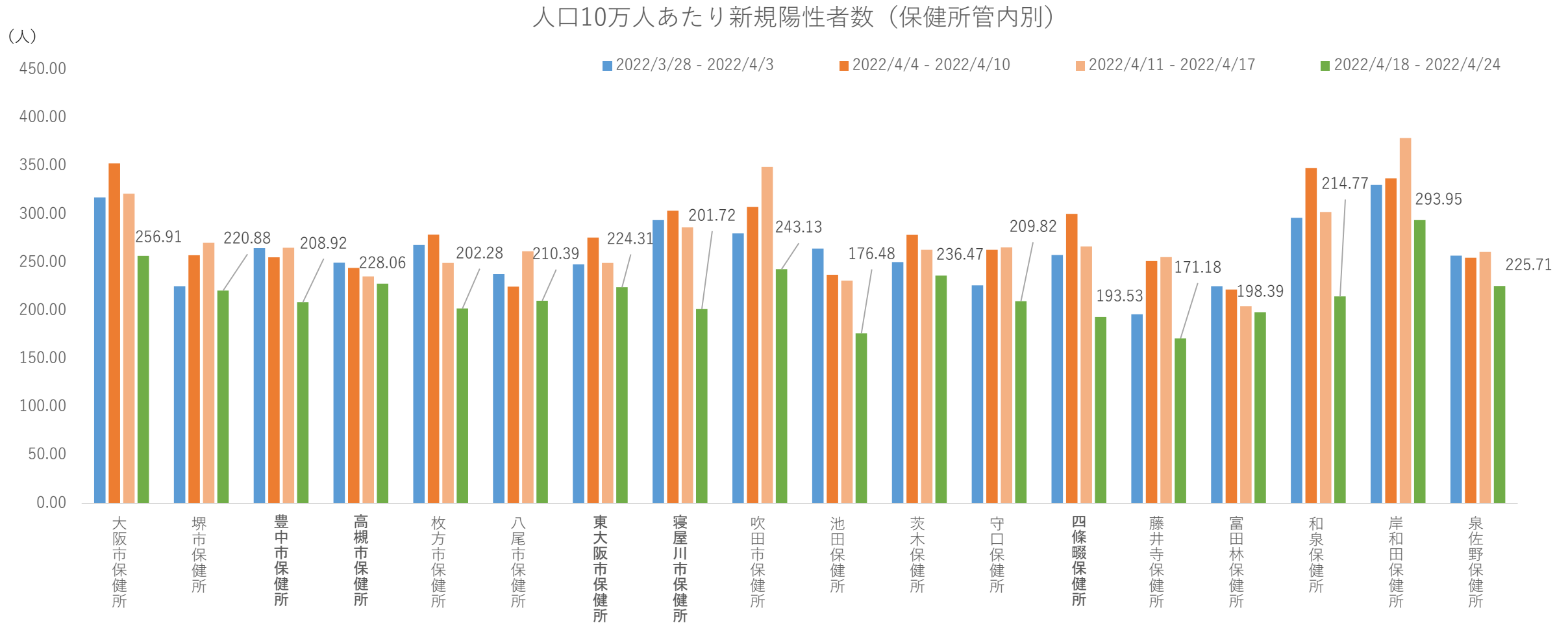
【年代別新規陽性者数（7日間移動平均）前日増加比】

	4/16	4/17	4/18	4/19	4/20	4/21	4/22	4/23	4/24	4/25	4/26
曜日	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火
10代以下	0.99	0.98	0.99	0.97	0.99	0.97	0.98	0.98	1.02	1.00	1.03
20～30代	0.98	0.95	0.98	0.95	0.94	0.96	0.96	0.97	1.00	1.00	0.99
40～50代	0.98	0.97	0.98	0.94	0.94	0.97	0.96	0.97	0.98	1.00	1.00
60代以上	0.97	0.96	0.98	0.95	0.91	0.97	0.95	1.00	1.00	1.01	1.01

前日増加比が1を超過した日

第六波の保健所管内別陽性者の状況（4月24日時点）

◆ 直近1週間は、全ての保健所管内で減少。



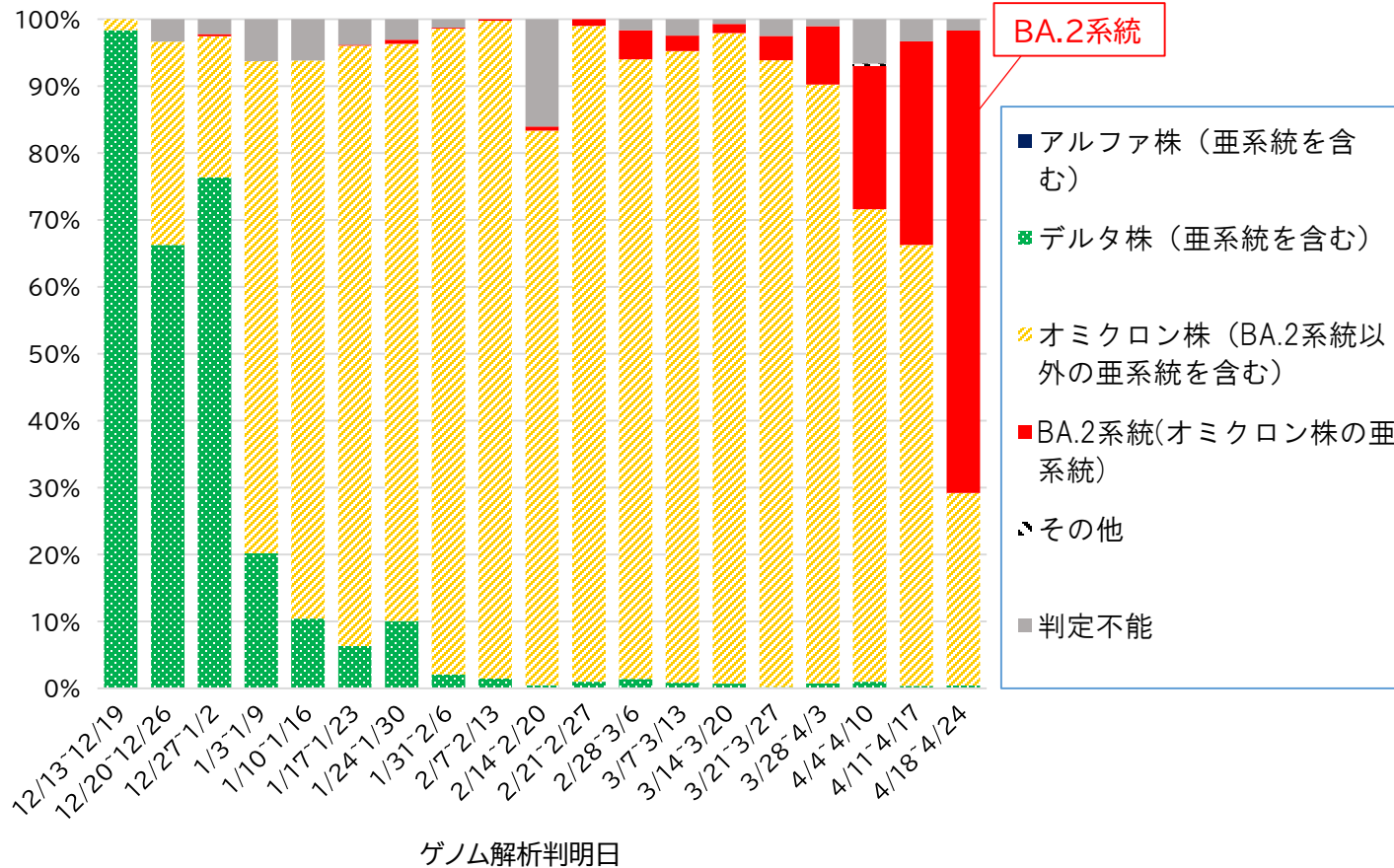
【池田】池田市・箕面市・豊能町・能勢町 【茨木】茨木市・摂津市・島本町 【守口】守口市・門真市 【四條畷】大東市・四條畷市・交野市
 【藤井寺】松原市・羽曳野市・柏原市・藤井寺市 【富田林】富田林市・河内長野市・大阪狭山市・太子町・河南町・千早赤阪村
 【和泉】泉大津市・和泉市・高石市・忠岡町 【岸和田】岸和田市・貝塚市 【泉佐野】泉佐野市・泉南市・阪南市・熊取町・田尻町・岬町

※居住地による（居住地为非公表、不明、調査中、他都道府県等を除く）

ゲノム解析結果及びオミクロン株 (BA.2系統) の検出状況

◆ 直近1週間の変異株スクリーニング検査では、BA.2系統疑いの検出が8割を超過。

○ゲノム解析により判明した変異株の検出割合
(対象期間に検出されたpango lineage(新型コロナウイルスの国際的な系統分類命名法)別に集計)



○ゲノム解析結果

	BA.2系統確定例
新規判明 (4/18~4/24)	161
累計	654

【参考】BA.2系統に対応した変異株PCR検査実施状況

	4/4~4/10	4/11~4/17	4/18~4/24
BA.2系統疑い 検出数	430	595	444
BA.2系統に対応した 変異株PCR検査数	608	751	532
BA.2系統疑いの 検出割合	約70.7%	約79.2%	約83.5%

※ゲノム解析はウイルス量の多い検体を対象にしており、全ての陽性検体を対象にはしていません。
また、感染拡大状況下による検査数増加に伴い、大量に検査可能な検査機関ほど、ゲノム解析に時間がかかる傾向にあります。
※検査機関からの結果報告日毎に集計しており、当該週における発症日や検体採取日毎の発生状況を表しているわけではありません。

※判定不能を除く

2 入院・療養状況

新型コロナウイルス感染症患者受入病床の確保・運用状況【重症・軽症中等症】

◆ 病床使用率は、直近では減少傾向で、4月25日時点で24.8%。

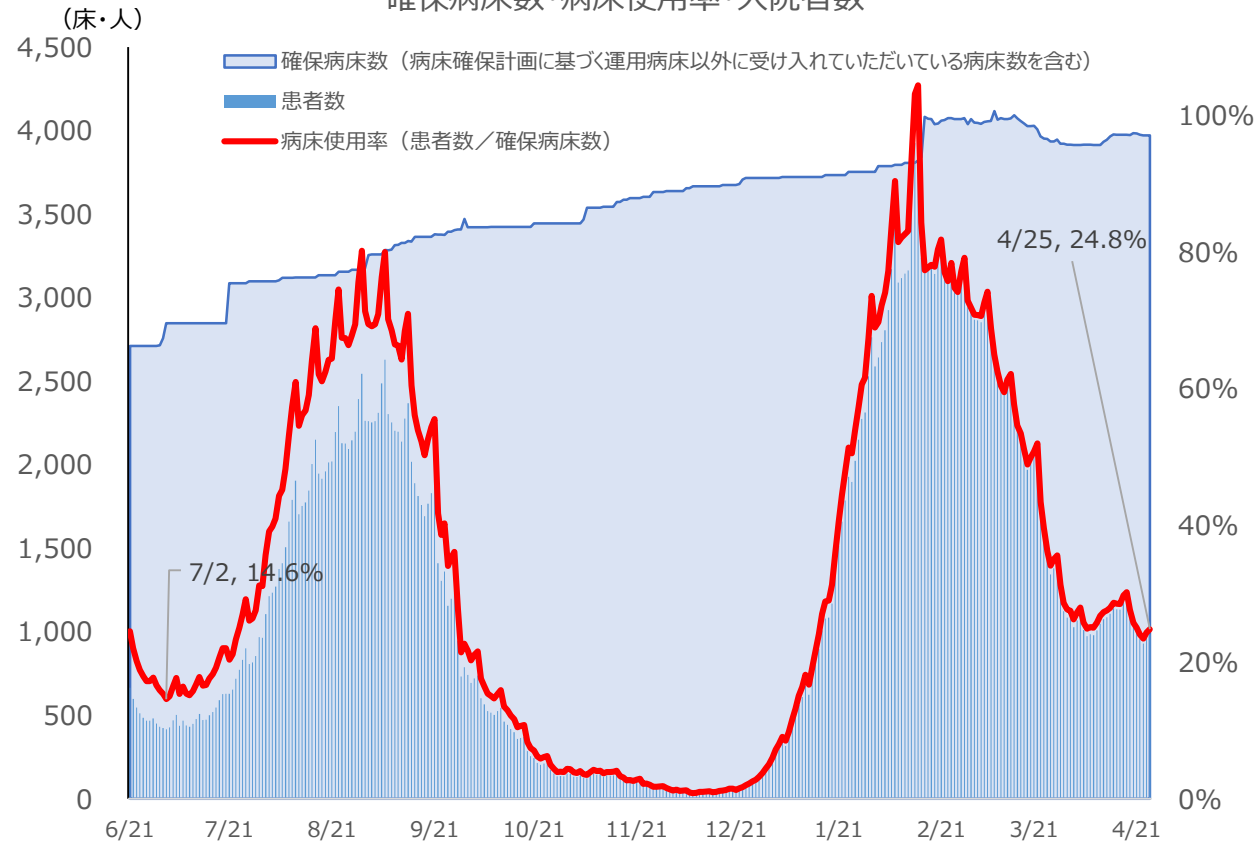
● 確保病床と使用率

4月25日現在 **病床使用率24.8%**

病床数 3,970床 入院患者数 985人

※病床数には、病床確保計画に基づく確保病床以外の受入病床数15床を含める
これら病床を病床数に含まない場合、24.9%

確保病床数・病床使用率・入院者数



新型コロナウイルス感染症患者受入病床の確保・運用状況【重症】

◆ コロナは軽症中等症だが、その他疾病で重症病床における入院加療が必要な患者数を含めた重症病床使用率は、9.7%で低水準で推移。

● 確保病床と使用率

4月25日現在 **病床使用5.2% (9.7%)**

病床数 620床 入院患者数 32人 (60人)

※病床数には、病床確保計画に基づく確保病床以外の受入病床数1床を含める
 ※ () の%、人数は、コロナは軽症中等症だが、その他疾病で重症病床における入院加療が必要な患者数28人を含めた場合の率と患者数

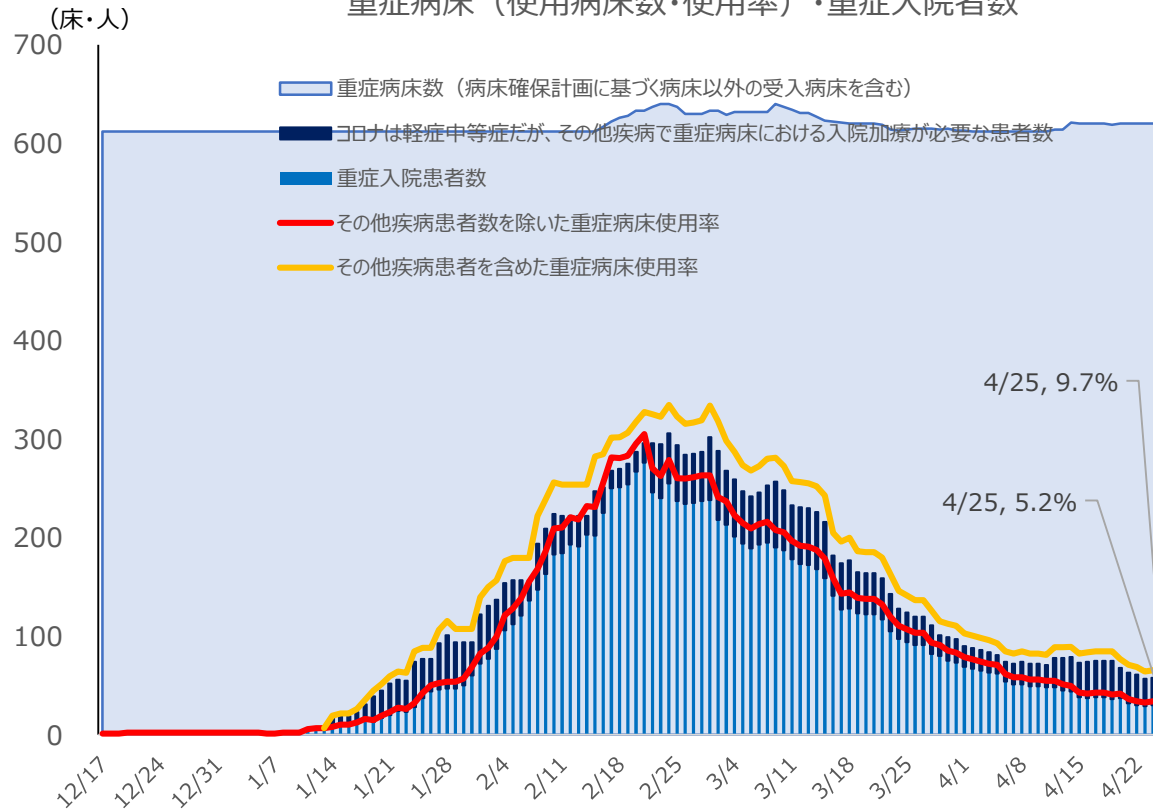
● 運用病床と運用率

4月25日現在 **病床運用率8.7% (16.3%)**

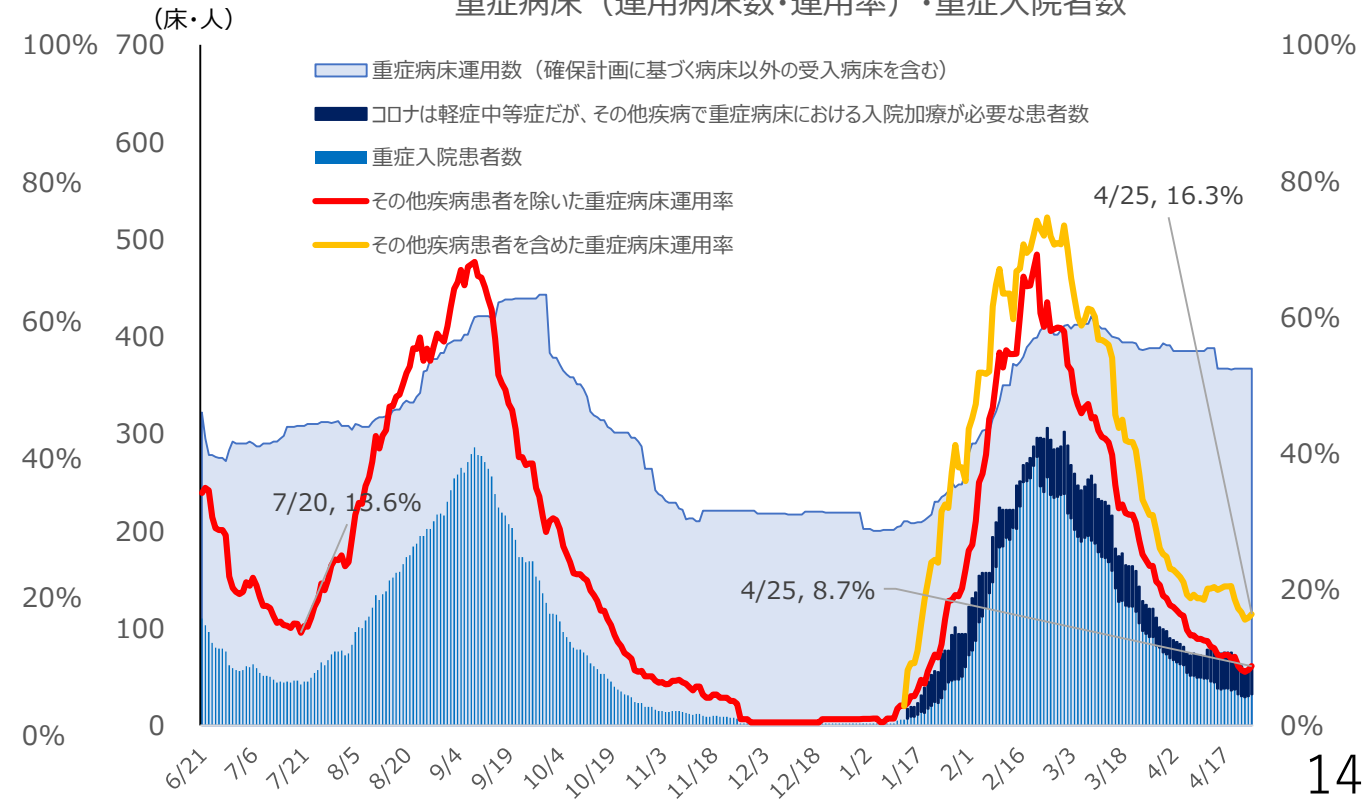
運用病床数 367床 入院患者数 32人 (60人)

※左記に同じ

重症病床（使用病床数・使用率）・重症入院患者数



重症病床（運用病床数・運用率）・重症入院患者数



新型コロナウイルス感染症患者受入病床の確保・運用状況【軽症中等症】

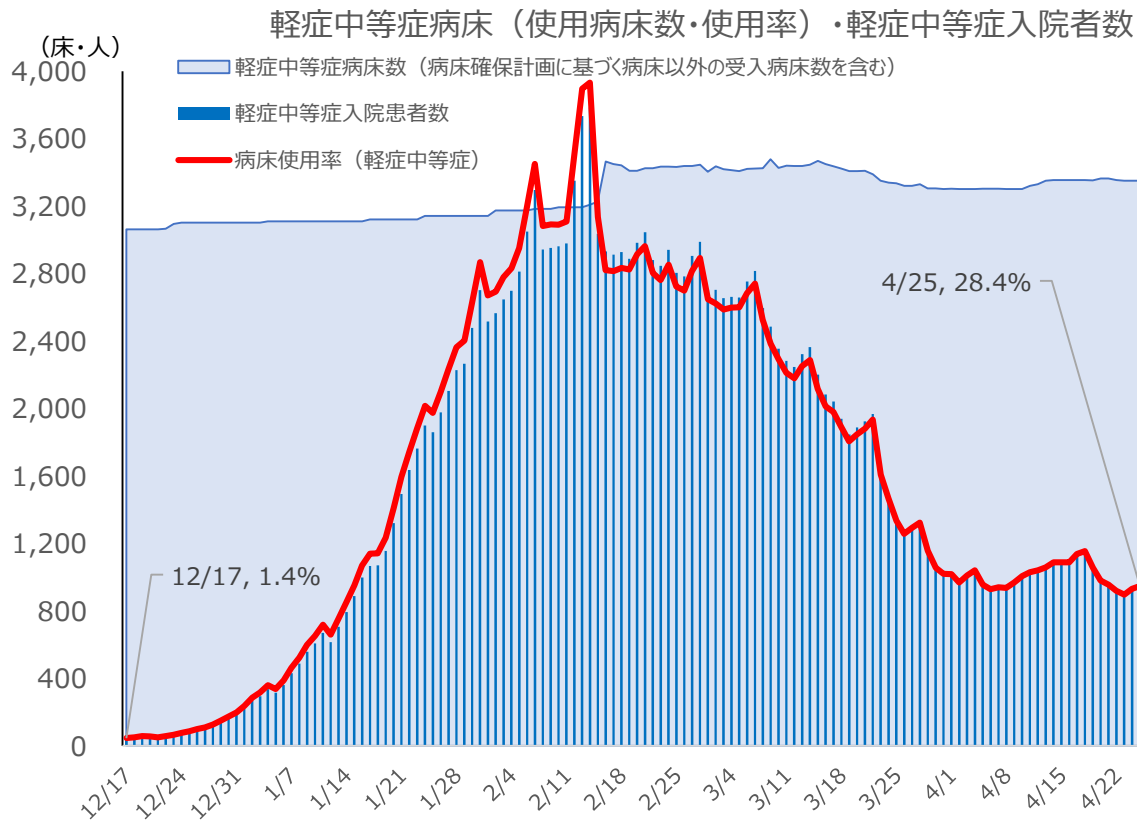
◆ 軽症中等症病床使用率は、4月25日時点で28.4%。

● 確保病床と使用率

4月25日現在 **病床使用率28.4%**

病床数 3,350床 入院患者数953人

※病床数には、病床確保計画に基づく確保病床以外の受入病床数14床を含める
 ※患者数には、コロナは軽症中等症だが、その他疾病で重症病床における入院加療が必要な患者数28人を含める。含めない場合は使用率27.6%、運用率28.4%。

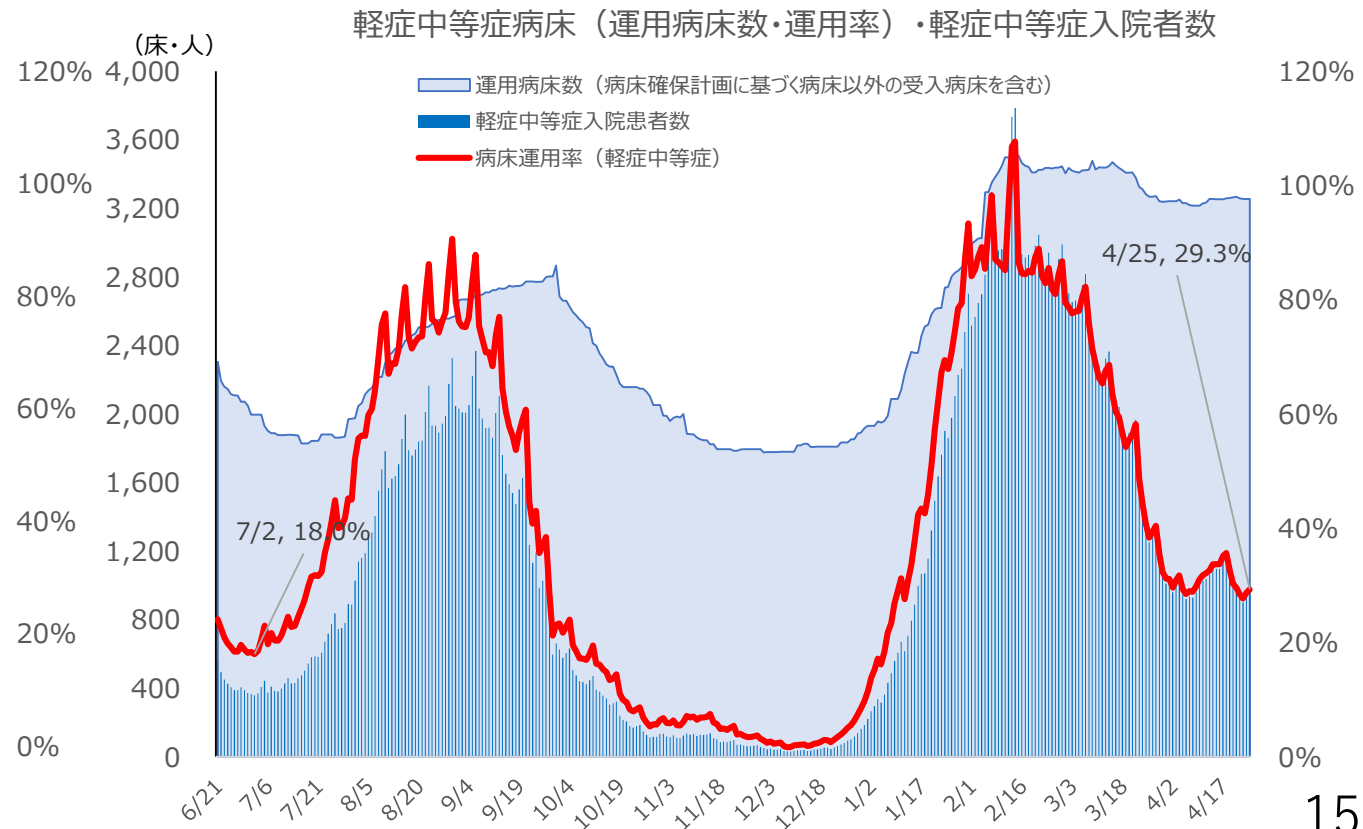


● 運用病床と運用率

4月25日現在 **病床運用率29.3%**

運用病床数 3,254床 入院患者数953人

※左記に同じ



新型コロナウイルス感染症宿泊・自宅療養者、入院・療養等調整中者数

◆ 宿泊療養施設居室使用率は13.4%。

◆ 現在、自宅待機している方（自宅療養者数、入院・療養等調整中者数の合計）は約30,000人で推移。

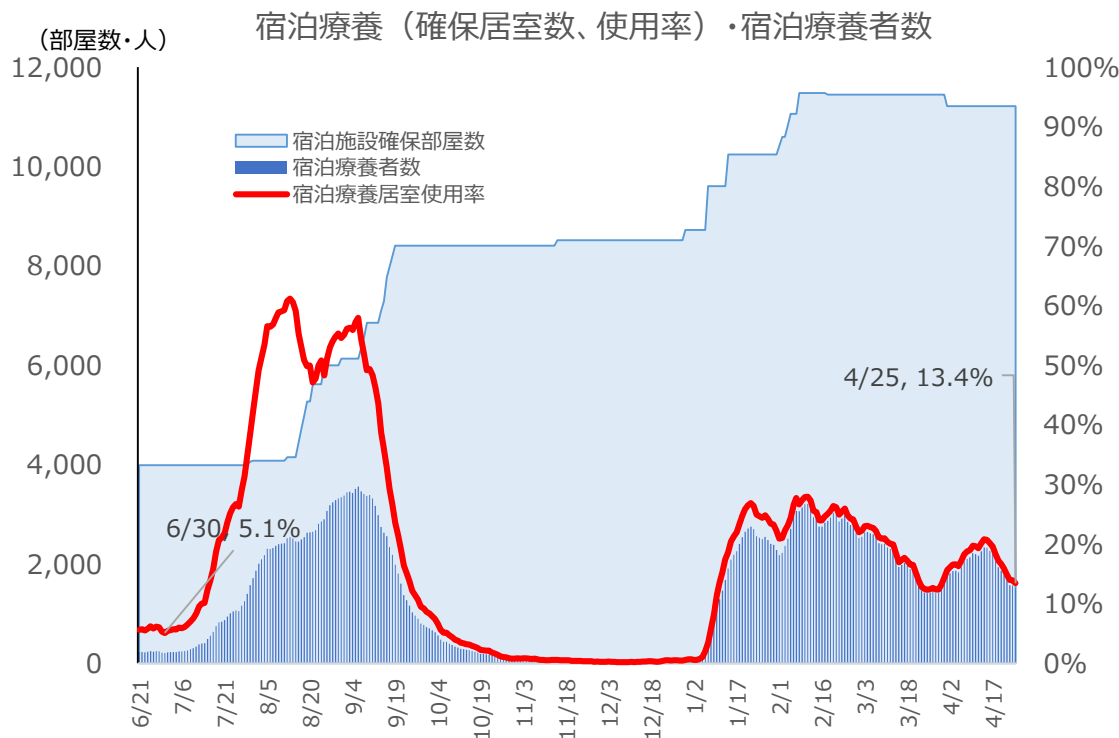
● 宿泊療養施設使用状況

4月25日現在 **使用率13.4%**

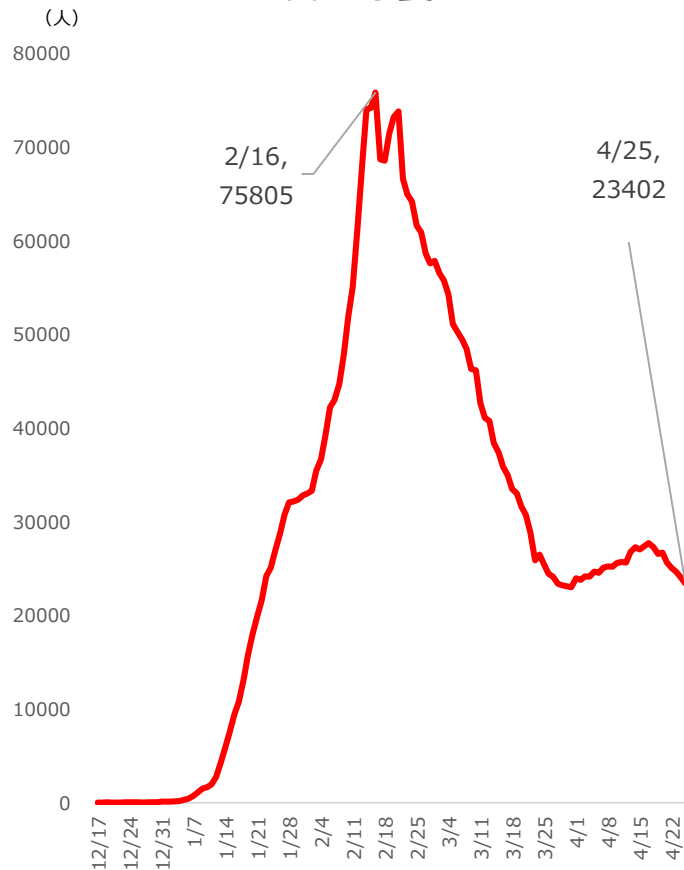
居室使用数11,216室 療養者数 1,506人

運用率17.2%（運用居室数 8,732室）

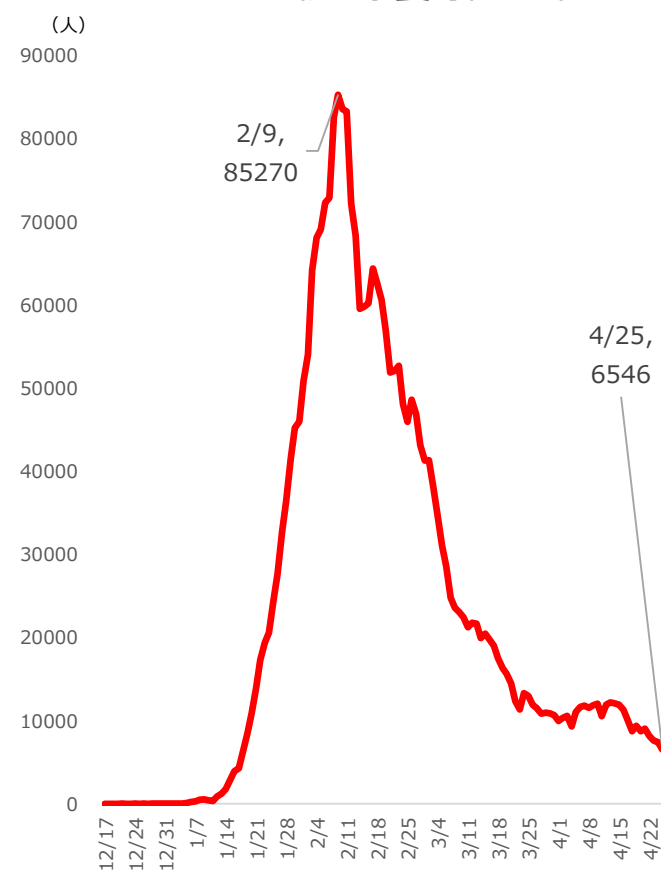
● 自宅療養者数と入院・療養等調整中の数



自宅療養者



入院・療養等調整中

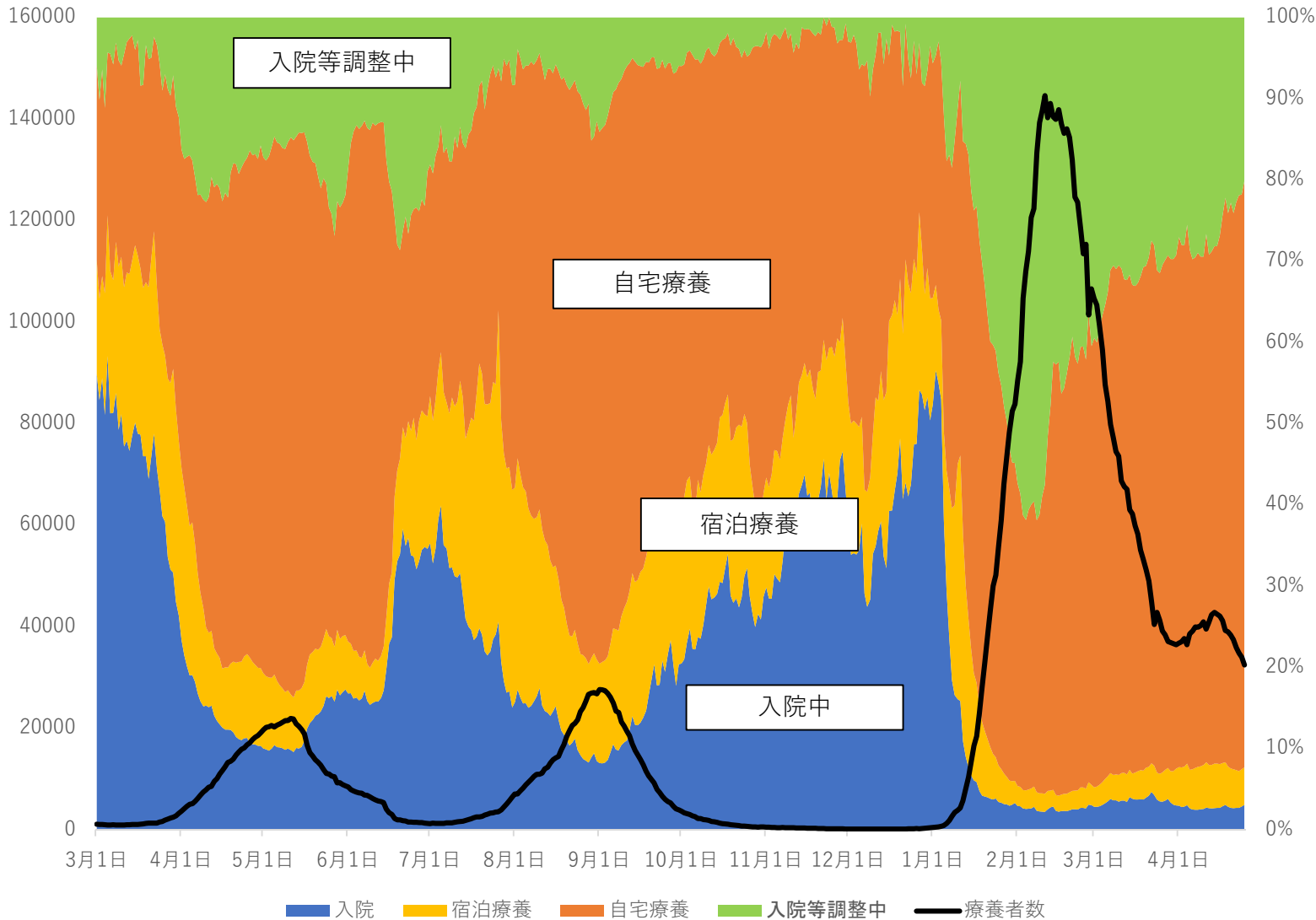


宿泊療養施設のうち、臨時医療施設（150室）における療養者数は26人。

大阪コロナ大規模医療・療養センター-4/25時点 使用率0.8%（8/1,000）、運用率1.6%（8/500）

入院・療養状況（4月25日時点）

◆ 入院率は、4月25日時点で3.0%。



	第四波 (5/11)	第五波 (9/1)	2/11	4/25
入院等調整中	14.7%	14.1%	57.6%	20.2%
自宅療養	68.6%	65.5%	38.0%	72.1%
宿泊療養	6.8%	12.2%	2.2%	4.6%
入院中	9.8%	8.2%	2.2%	3.0%
療養者数	21,900人	27,587人	144,639人	39,261人

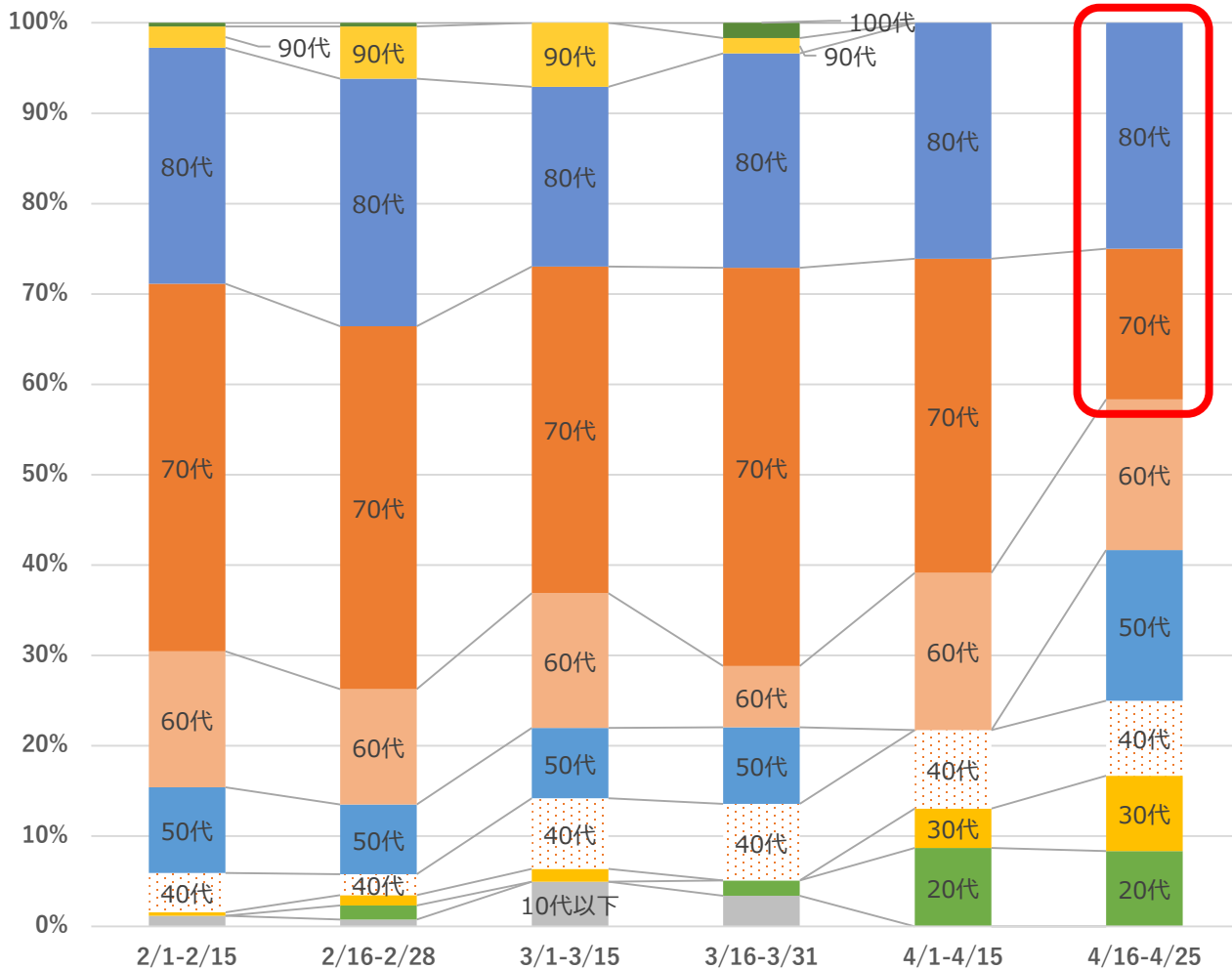
※第四波、第五波は、最大療養者数となった日
 ※2/11は第六波で最大療養者数となった日

※ 1月5日に患者の全員入院対応。1月7日、1月25日に入院・宿泊療養対象を見直し

年代別新規重症者の内訳（公表日別）（4月25日時点）

- ◆ 4月16日～25日までの新規重症者の年代別内訳は、70代以上が占める割合が約4割。
- ◆ 第六波全体における新規重症者に占める70代以上の割合は約7割。

年代別新規重症者の内訳割合（2/1～4/25）

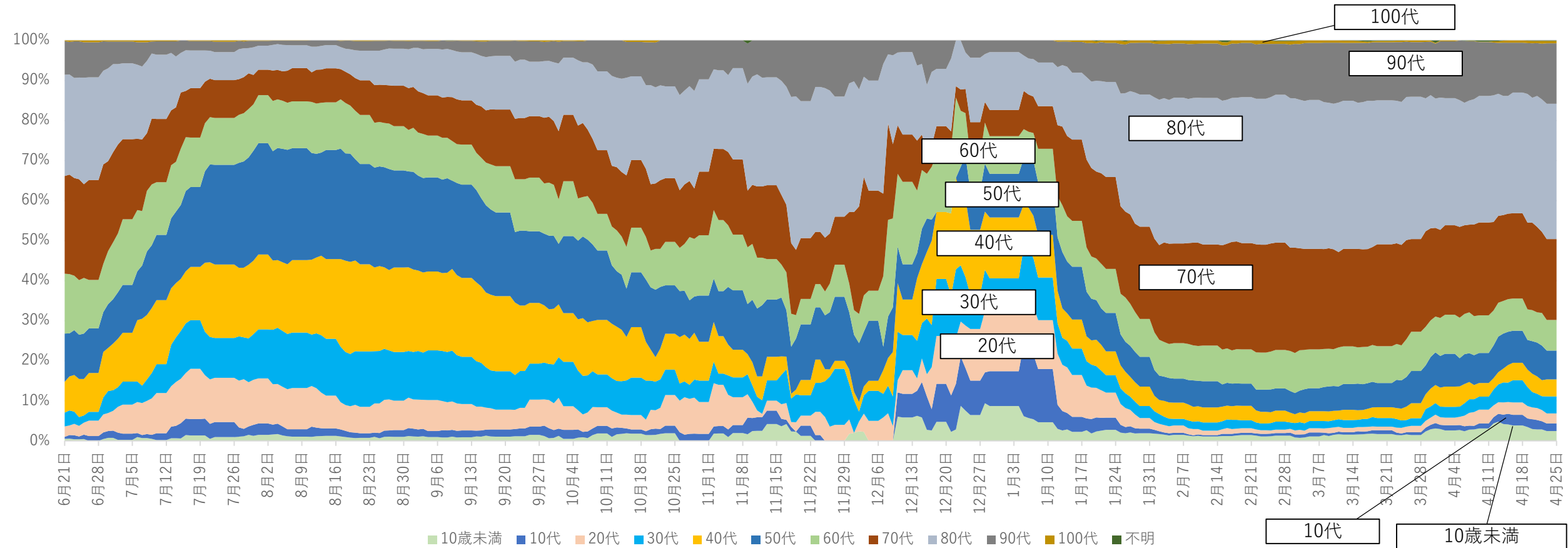


	第四波 (R3.3/1～ 6/20)	第五波 (R3.6/21～ 12/16)	第六波 (R3.12/17～)
新規陽性者数 累計	55,318人	100,891人	677,383人
新規重症者数	1,735人	1,024人	828人
30代以下	61人 (3.5%)	101人 (9.9%)	33人 (4.0%)
40・50代の 割合	491人 (28.3%)	553人 (54.0%)	116人 (14.0%)
60代以上の 割合	1,183人 (68.2%)	370人 (36.1%)	679人 (82.0%)
(うち、70代 以上の割合)	768人 (44.3%)	188人 (18.4%)	565人 (68.2%)

※新規重症者を公表日別に集計しているため、陽性判明日別に集計した各波の重症者数と人数が一致しない場合がある。
 ※第六波の各年代の割合は、4月25日時点までの新規重症者数に基づく。今後、新規重症者の推移により変動。

軽症中等症受入医療機関における入院患者数の年代別割合（4月25日時点）

◆ 4月25日時点で、軽症中等症入院患者のうち、70代以上は約7割を占める。



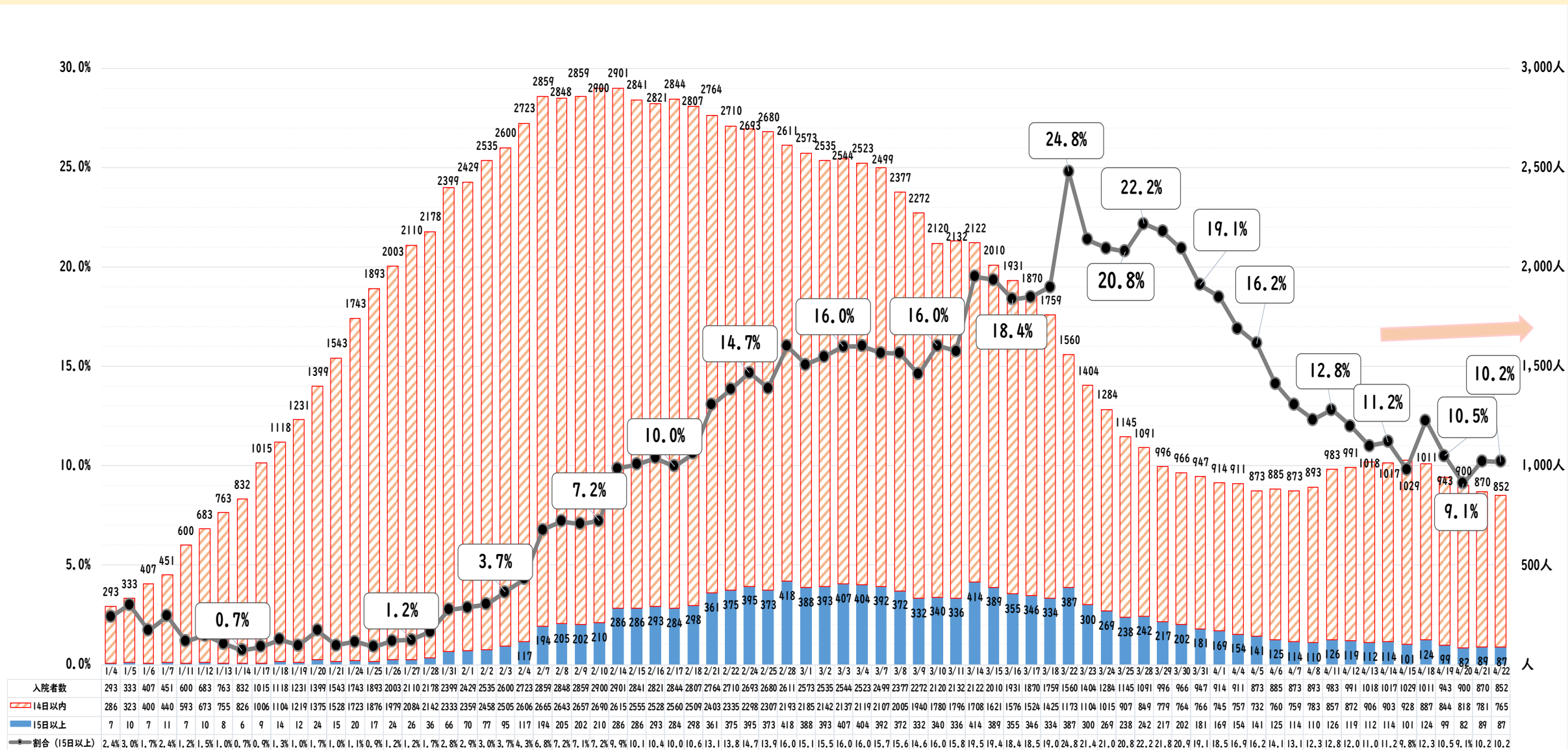
	第四波(5/12)	第五波(9/2)	第六波 (2/11)	第六波 (4/25)
60代未満	23.3%	66.3%	14.9%	22.6%
60代以上	76.7%	33.7%	85.1%	77.3%
(うち、70代以上)	(60.4%)	(23.0%)	(76.2%)	(69.7%)

※ 1月5日に患者の全員入院対応、1月7日に入院・宿泊療養対象を見直し

※ 第四波・第五波は最低入院率となった日、第六波(2/11)は最低入院率かつ療養者数が最大となった日

軽症中等症病床における長期入院患者の状況（15日以上の入院患者の推移）

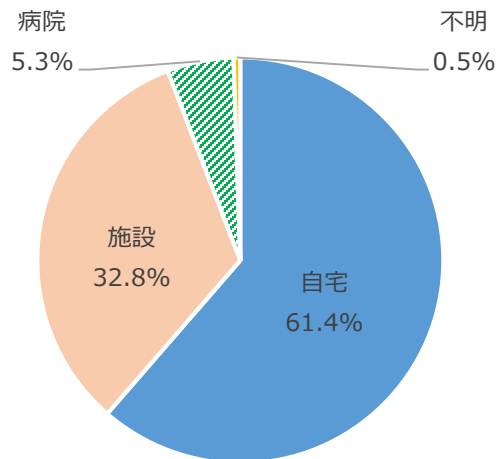
◆ 総入院患者に占める15日以上の患者の割合は、直近で10%前後で横ばい。



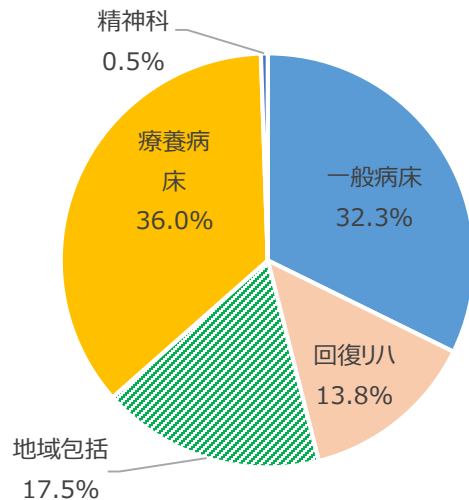
転退院サポートセンターによるアフターコロナ調査結果（令和4年1月4日～4月6日）

◆ 転退院サポートセンターで転院調整を行った患者189名（令和4年1月4日から4月6日）のうち、ADLの低下が見られた患者の割合が84.1%、嚥下の低下が見られた患者の割合が55.6%、認知症が見られた患者の割合が49.7%。

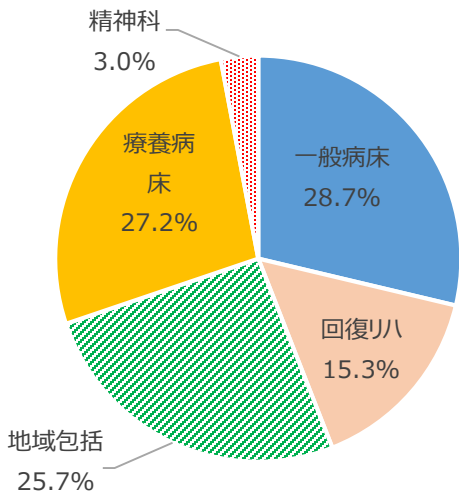
【発症前の所在先】



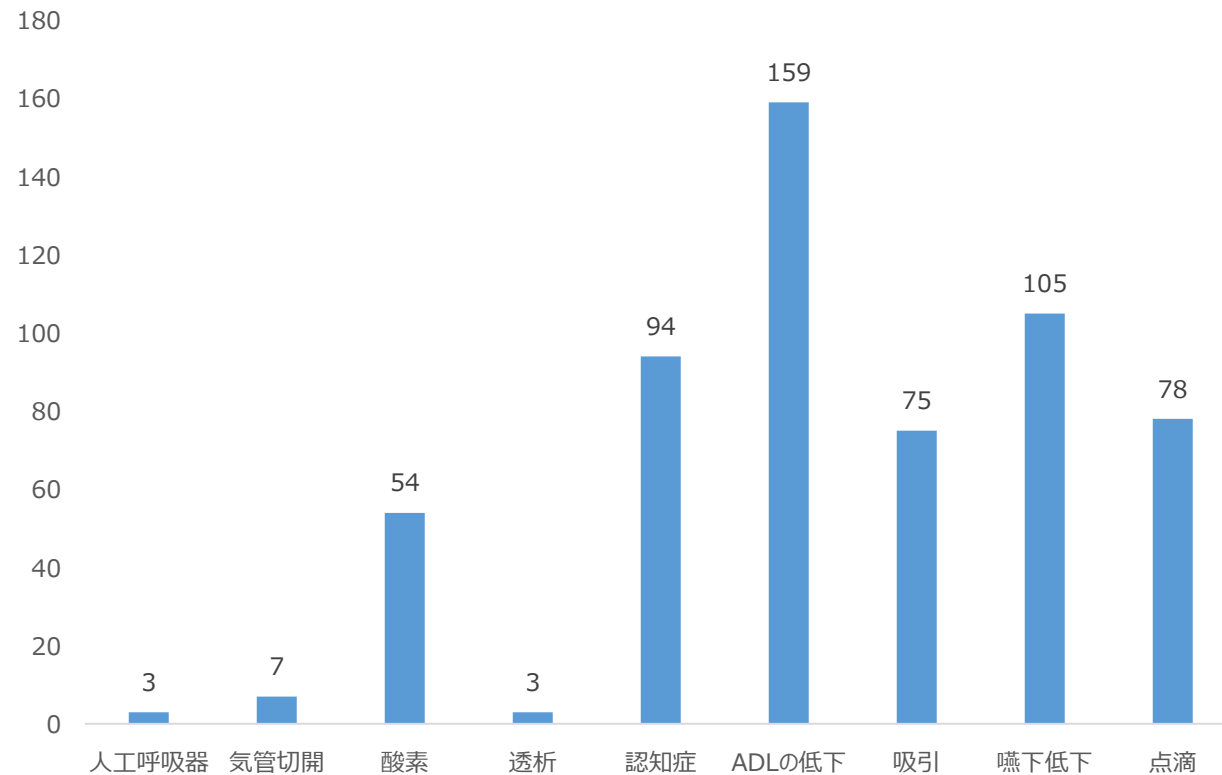
【転院希望先】



【転院先病床内訳】 ※重複あり



【転院調整患者の症状（重複あり）】



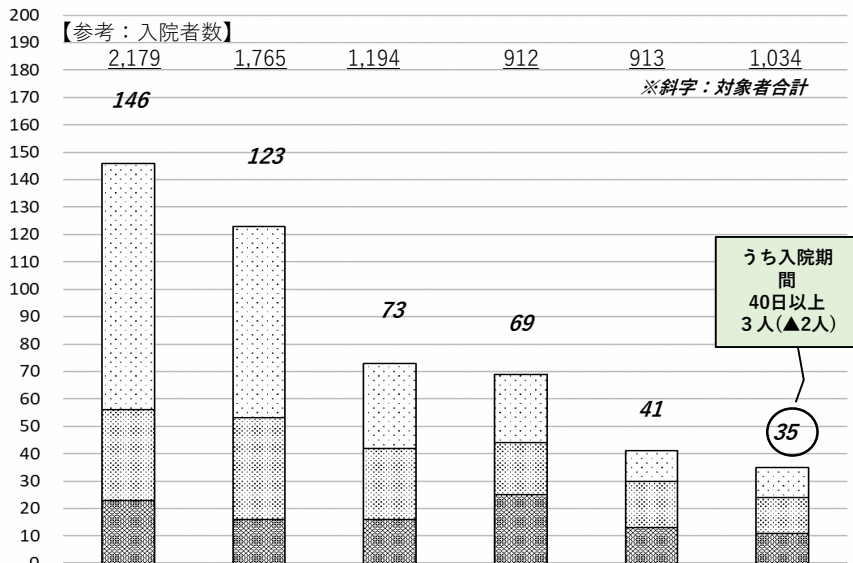
人工呼吸器	気管切開	酸素	透析	認知症	ADLの低下	吸引	嚥下低下	点滴	転院打診対象者数
3	7	54	3	94	159	75	105	78	189
1.6%	3.7%	28.6%	1.6%	49.7%	84.1%	39.7%	55.6%	41.3%	-

長期入院患者の状況に関する個別調査の状況報告（第1回～第6回）【全体の状況】

- ◆ コロナ患者受入医療機関への調査結果から、軽症中等症患者については、退院等調整中の割合が約5割と高く、その背景として、ADLの低下や認知症が見られる患者が多いことが考えられる。
- ◆ 重症患者については、人工呼吸器管理が不可欠であることなどから、療養継続を必要とする患者が多い。

軽症中等症（対象者：入院期間20日以上患者）

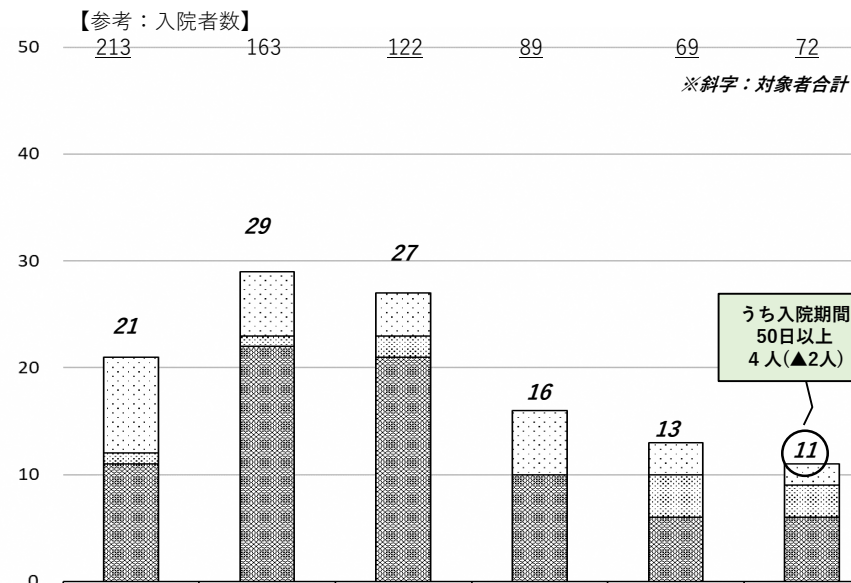
- 対象者数は、減少傾向が継続。
- 入院継続中のうち、半数以上が退院等調整中となっている。



	3/11	3/18	3/25	4/1	4/8	4/15
入院者（人）	2179	1765	1194	912	913	1034
対象者合計（人）①+②+③	146	123	73	69	41	35
入院継続中（人）②+③	56	53	42	44	30	24
①退院等済（人）	90	70	31	25	11	11
②退院等調整中（人）	33	37	26	19	17	13
③療養継続中（人）	23	16	16	25	13	11
入院継続中の割合（%）入院継続中/対象者	38.4%	43.1%	57.5%	63.8%	73.2%	68.6%
④退院等調整中の割合（%）②/入院継続中	58.9%	69.8%	61.9%	43.2%	56.7%	54.2%
⑤療養継続中の割合（%）③/入院継続中	41.1%	30.2%	38.1%	56.8%	43.3%	45.8%

重症（対象者：入院期間30日以上患者）

- 対象者数は、3月18日をピークに減少。
- 入院継続中のうち療養継続を必要とする患者が多い。



	3/11	3/18	3/25	4/1	4/8	4/15
入院者（人）	213	163	122	89	69	72
対象者合計（人）①+②+③	21	29	27	16	13	11
入院継続中（人）②+③	12	23	23	10	10	9
①退院等済（人）	9	6	4	6	3	2
②退院等調整中（人）	1	1	2	0	4	3
③療養継続中（人）	11	22	21	10	6	6
入院継続中の割合（%）入院継続中/対象者	57.1%	79.3%	85.2%	62.5%	76.9%	81.8%
④退院等調整中の割合（%）②/入院継続中	8.3%	4.3%	8.7%	0.0%	40.0%	33.3%
⑤療養継続中の割合（%）③/入院継続中	91.7%	95.7%	91.3%	100.0%	60.0%	66.7%

3 感染状況を踏まえた対応

第七波に向けた保健所業務の重点化・医療療養体制の強化の方針と取組

【基本的な考え方】

「第19回大阪府新型コロナウイルス感染症対策協議会資料（R4.3.22）抜粋

- ① さらなる感染拡大を想定し、保健所が担う業務・府による一元的調整を、重点化・効率化
- ② 大規模な患者発生を想定し、より幅広い医療機関にコロナ対応を要請
- ③ ハイリスク者と高齢者施設に対する医療・療養体制を強化

方針1 陽性者に対する、保健所を介さない健康観察・初期治療体制の確保と、保健所業務のさらなる効率化

- 【取組1】診療・検査医療機関等における陽性者対応（ファーストタッチ・健康観察・初期治療）の推進、診療・検査医療機関の公表・治療の実施等
- 【取組2】「新型コロナ関係事務処理センター」の設置
- 【取組3】配食サービス提供にかかる申請受付・配送手続きのワンストップ化
- 【取組4】「パルス配送ステーション」（仮称）の設置

方針2 高齢者施設に対する往診・支援体制の確保と、高齢者の療養フロー（かかりつけ医⇒入院⇒転退院）の確立・徹底

- 【取組5】「高齢者施設等クラスター重点往診チーム」「大阪府高齢者施設等クラスター対応強化チーム(OCRT)」に加え、「高齢者施設等の往診専用ダイヤル」を設置
- 【取組6】高齢者施設における新型コロナウイルス感染症治療体制の協力金
- 【取組7】自宅、施設における外来・往診等の治療、症状悪化時の入院調整から治療後は速やかに転退院できる体制を整備

方針3 非コロナ医療機関も含めた“オール医療”の体制構築

- 【取組8】新型コロナ入院患者受入体制の強化
- 【取組9】透析患者・妊産婦・小児の療養フローの確立・徹底、外来への感染対策設備整備補助

方針4 圏域単位・病病連携・病診連携に軸足を置いた入院調整

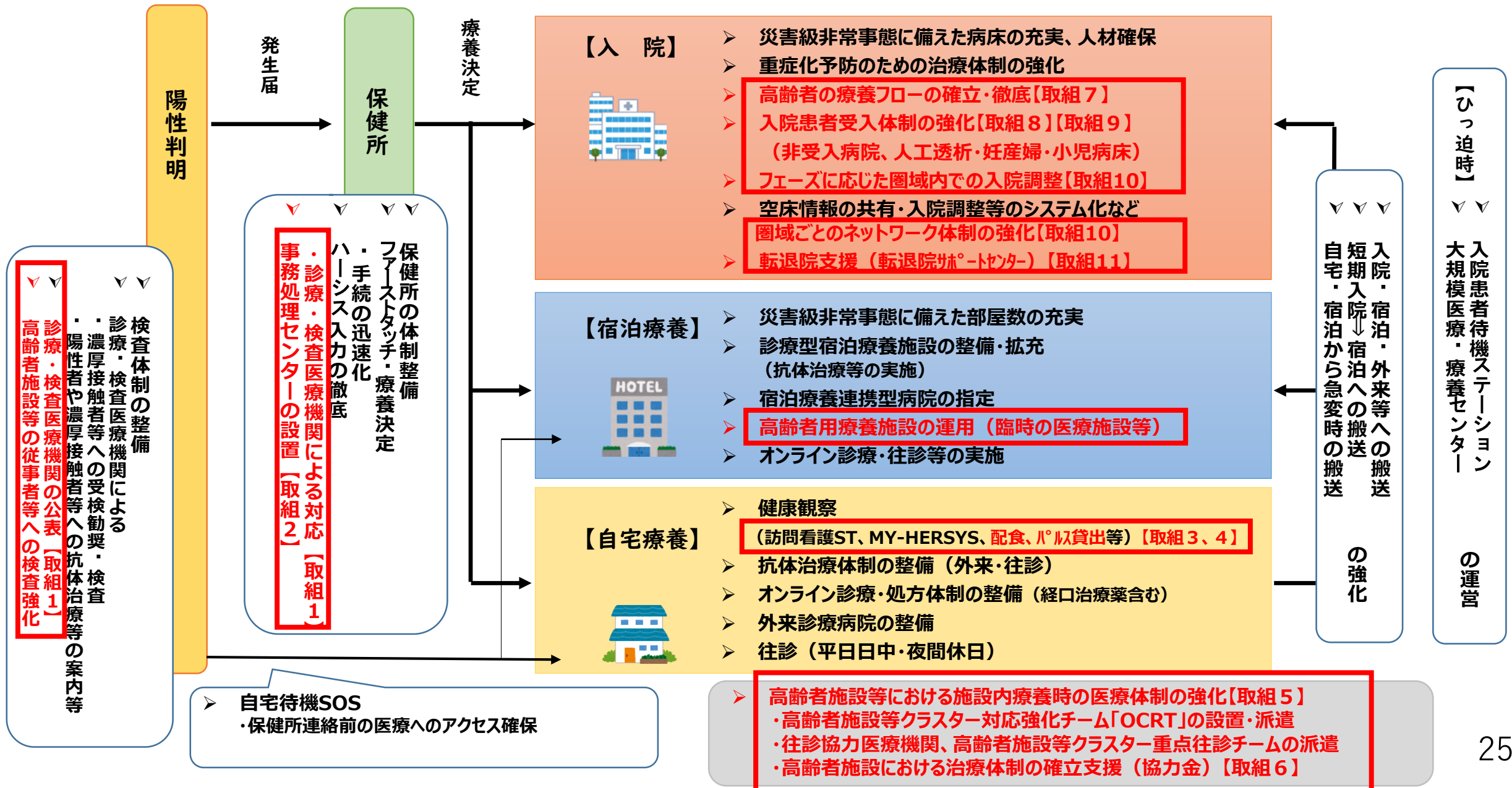
- 【取組10】フェーズに応じた圏域内での入院調整、入院調整システムによる調整・見える化の推進など

方針5 転退院の促進

- 【取組11】受入医療機関に対する長期入院患者の転退院のさらなる促進、後方支援病院における転退院患者の確実な受入れ

大阪府における今後の感染拡大に備えた対応

「新型コロナウイルス感染症にかかる大阪府保健・医療提供体制確保計画」(R3.11.25) に第7波に向けた取組み追加



第七波に向けた保健所業務の重点化、医療・療養体制の強化の主な取組状況

(時点は特に記載がなければ4月20日時点)

●方針1 陽性者に対する、保健所を介さない健康観察・初期治療体制の確保と、保健所業務のさらなる効率化

項目	取組状況	実施時期																
<p>【取組1】</p> <p>○診療・検査医療機関等における陽性者対応（ファーストタッチ・健康観察・初期治療）の推進</p> <p>○診療・検査医療機関の公表・治療の実施等</p>	<p>【診療・検査医療機関等における陽性者対応（ファーストタッチ・健康観察・初期治療）の推進】</p> <p>○健康観察等の委託開始 健康観察等を行う診療・検査医療機関等：424件（4/20時点）</p> <p>○医療機関による発生届のHER-SYS入力促進：P.29のとおり</p> <hr/> <p>【診療・検査医療機関の公表・治療の実施等】</p> <p>○診療・検査医療機関の公表：2,372医療機関（4/19時点）</p> <p>○診療・検査医療機関のうち、自宅療養者等への診療を行う医療機関：</p> <table border="1" data-bbox="672 615 1393 958"> <thead> <tr> <th></th> <th>4/20時点</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>①コロナ診療実施医療機関</td> <td>641</td> </tr> <tr> <td>②抗体治療医療機関（外来）</td> <td>193</td> </tr> <tr> <td>③往診医療機関</td> <td>170</td> </tr> <tr> <td>④オンライン診療機関</td> <td>232</td> </tr> <tr> <td>⑤経口治療薬の処方</td> <td>446</td> </tr> </tbody> </table> <p style="text-align: right;">（医療機関数 ※重複該当あり）</p> <p>○自宅療養者への診療を行う医療機関として、自宅療養者支援サイトに掲載している医療機関：</p> <table border="1" data-bbox="672 1055 1668 1208"> <thead> <tr> <th>1/17時点</th> <th>4/20時点</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>310医療機関 （82病院、228診療所）</td> <td>797医療機関 （122病院、675診療所）</td> </tr> </tbody> </table>		4/20時点	①コロナ診療実施医療機関	641	②抗体治療医療機関（外来）	193	③往診医療機関	170	④オンライン診療機関	232	⑤経口治療薬の処方	446	1/17時点	4/20時点	310医療機関 （82病院、228診療所）	797医療機関 （122病院、675診療所）	<p>○4月1日～委託開始</p> <hr/> <p>○3月14日に全公表</p> <p>○従来より実施</p> <hr/> <p>○従来より実施</p>
	4/20時点																	
①コロナ診療実施医療機関	641																	
②抗体治療医療機関（外来）	193																	
③往診医療機関	170																	
④オンライン診療機関	232																	
⑤経口治療薬の処方	446																	
1/17時点	4/20時点																	
310医療機関 （82病院、228診療所）	797医療機関 （122病院、675診療所）																	
<p>【取組2】</p> <p>「新型コロナ関係事務処理センター」の設置</p>	<p>○府管轄保健所に、事務処理センターを設置 ※政令中核市にはセンター設置のスキームを共有（事務処理センター業務）</p> <p>①入院勧告書など証明書等発行業務 ②65歳以下のSMS送信業務 ③HER-SYS（発生届代行）入力 ④各種問い合わせ等の電話対応業務</p>	<p>○3月22日に府管保健所に設置</p>																

第七波に向けた保健所業務の重点化、医療・療養体制の強化の主な取組状況

●方針2 高齢者施設に対する往診・支援体制の確保と、高齢者の療養フロー（かかりつけ医⇒入院⇒転退院）の確立・徹底

項目	取組状況	実施時期				
【取組3】 配食サービス提供にかかる申請受付・ 配送手続きのワンストップ化	○「配食・パルスセンター」を設置し、府管轄保健所の手続きをワンストップ化（政令中核市は順次調整）	○4月14日に 設置				
【取組4】 「パルス配送ステーション」（仮称）の 設置						
【取組5】 「高齢者施設等クラスター重点往診チ ーム」「大阪府高齢者施設等クラスター対 応強化チーム（OCRT）」に加え、「高 齢者施設等の往診専用ダイヤル」を設 置	○「高齢者施設等往診専用ダイヤル」を設置	○3月25日に 設置				
	○重点往診チーム：8圏域14チーム					
	○重症化予防協力金により、往診協力医療機関数を拡充					
	<table border="1"> <tr> <td>1/28時点</td> <td>4/15時点</td> </tr> <tr> <td>28医療機関</td> <td>114医療機関</td> </tr> </table>	1/28時点	4/15時点	28医療機関	114医療機関	○2月9日に重症化 予防協力金制度 運用開始
1/28時点	4/15時点					
28医療機関	114医療機関					
	○大阪府高齢者施設等クラスター対応強化チーム（OCRT）の設置 往診支援7件、感染対策助言68件（うち電話対応2件）（2/18～4/20時点）	○2月18日に設置				
	○医療機関等に対する治療法等に関する研修の実施（令和4年3月30日、4月5日）					
	○府内全ての入所系・居住系の高齢者施設等（政令市・中核市含む）の従事者等を対象に、抗原定性検査 キットによる頻回な検査を実施（3日に1回）	○4月15日受付 開始				
【取組6】 高齢者施設における新型コロナウイルス 感染症治療体制の協力金	○治療体制確立協力金：高齢者施設への往診又はオンライン診療を実施する協力機関に対して協力金を支給 ○重症化予防協力金：協力医療機関が確保できない高齢者施設等への往診による抗体治療等を実施する 医療機関に対して協力金を支給	○治療体制確立協力 金は3月14日に、 重症化予防協力金 は2月9日開始				
【取組7】 新型コロナの高齢者（自宅・施設）の 療養フローの確立・徹底	○自宅の高齢者：かかりつけ医（外来）もしくは往診医（在宅医療）が初期治療を実施 （参考）診療所等における診療・往診等の対応 ・自宅療養等診療報酬件数 令和3年6月～令和3年12月（第五波） 約26,000件 ⇒令和4年1月～2月（第六波） 約210,000件	○従来より実施				
	○施設の高齢者：協力医療機関や往診医（施設往診）が初期治療を実施					

第七波に向けた保健所業務の重点化、医療・療養体制の強化の主な取組状況

●方針3 非コロナ医療機関も含めた“オール医療”の体制構築

項目	取組状況	実施時期																			
【取組8】 新型コロナ入院患者受入体制の強化	<ul style="list-style-type: none"> ○新型コロナ患者非受入病院連絡会議（4月5日）の開催 <ul style="list-style-type: none"> ・自院患者陽性判明時に自院にてコロナ治療実施（中等症Iまで）を要請 ・地域の中核的な医療機関を中心とした支援ネットワーク体制の構築支援や治療薬の登録推進 ○コロナ患者受入病床の増床状況 <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2"></th> <th colspan="2">重症</th> <th colspan="2">軽症中等症</th> </tr> <tr> <th>3/18時点</th> <th>4/20時点</th> <th>3/18時点</th> <th>4/20時点</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>人工透析</td> <td>45</td> <td>52 (+7)</td> <td>84</td> <td>117(+33)</td> </tr> <tr> <td>妊産婦（分娩対応可）</td> <td>11</td> <td>14 (+3)</td> <td>26</td> <td>36(+10)</td> </tr> </tbody> </table>		重症		軽症中等症		3/18時点	4/20時点	3/18時点	4/20時点	人工透析	45	52 (+7)	84	117(+33)	妊産婦（分娩対応可）	11	14 (+3)	26	36(+10)	<ul style="list-style-type: none"> ○4月5日以降順次働きかけ ○3月18日付け要請
	重症		軽症中等症																		
	3/18時点	4/20時点	3/18時点	4/20時点																	
人工透析	45	52 (+7)	84	117(+33)																	
妊産婦（分娩対応可）	11	14 (+3)	26	36(+10)																	
【取組9】 透析患者・妊産婦・小児の療養フローの確立・徹底、外来への感染対策設備整備補助	<ul style="list-style-type: none"> ○透析患者・妊産婦・小児の入院調整：大阪府入院フォローアップセンターによる府域全域で実施 ○療養：新型コロナ患者非受入病院を含めた外来診療における受入体制整備 ○新型コロナ患者非受入病院連絡会議（4月5日）の開催（再掲） 	○従来より実施																			

●方針4 圏域単位・病病連携・病診連携に軸足を置いた入院調整

【取組10】 フェーズに応じた圏域内での入院調整、入院調整システムによる調整・見える化の推進など	<ul style="list-style-type: none"> ○圏域調整枠を新設し、フェーズに応じた圏域内での入院調整を実施 ○O-CIS(大阪府、保健所や受入医療機関等が患者情報と病床運用状況を共有するためのシステム)を改修し、入院調整を促進 	○4月20日より開始
-----------------------------------------------------	----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------	------------

●方針5 転退院の促進

【取組11】 受入医療機関に対する長期入院患者の転退院のさらなる促進、後方支援病院における転退院患者の確実な受入れ	<ul style="list-style-type: none"> ○長期入院患者の定期的な状況把握（週1回）や退院基準を超過した患者の陰性確認等による転退院の推進 ○入院患者に対する退院隔離解除基準の周知や高齢者施設等からの入院患者の退院ルール化 	○従来より実施
--------------------------------------------------------------	---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------	---------

医療機関による発生届のHER-SYS入力への促進

- ◆ 大規模な感染拡大時において、医療機関からFAXによる発生届の提出により保健所業務がひっ迫。
- ◆ 今後のさらなる感染拡大に備え、患者情報を迅速に共有し、重症化リスクの高い陽性者への対応を確実に実施するため、医療機関においてHER-SYS入力による発生届の提出を促進。

◇取組概要

- 診療・検査医療機関（2,186機関）すべてに対して、HER-SYSによる発生届入力について文書により協力要請
- 過去にFAXによる発生届の提出があった医療機関（2,078機関）に対し、架電又は訪問による働きかけを実施
- 4月13日診療・検査医療機関担当者を対象に、HER-SYSの利用方法に関する研修会を実施（500名参加）

◇架電等による聞き取り状況

FAXによる発生届出のあった医療機関※

2,078機関、309,365件

※過去に6件以上の発生届を提出した医療機関

実施済又は実施予定

707機関、135,257件

検討中

496機関、68,369件

困難、予定なし

875機関※2、105,739件

※2うち病院72機関、診療所803機関

【HER-SYS入力割合】（R4.3.25時点）

医療機関入力率

大阪府

48%

全国平均

68%

（R4.4.26時点）

医療機関入力率

大阪府

67%

全国平均

68%

◇今後の取組

※「検討中」と回答した医療機関の課題を抽出の上、特に発生届の件数の多い医療機関を中心に、導入支援を行う。